

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

# 第5回 「森の草本類の特徴と草刈を学ぼう（機械刈り・座学）」

日時：令和6年9月7日（土） 9：30～12：30

場所：技術技能講習センター豊玉会場



公共の緑地で、刈払機を使用した草刈りを行うために必要な「法令に基づく安全衛生教育」として、刈払機種、使用上の確認・注意事項、安全管理、振動障害、関係法令を学びました。

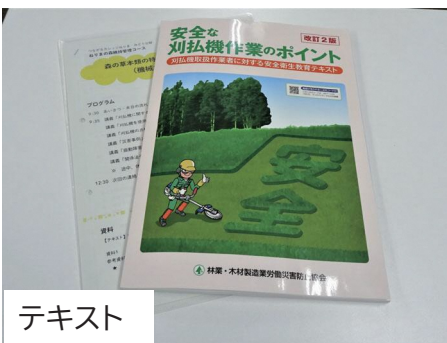
## 講義の様子



キックバックの防止



ナイロンコードの交換方法



テキスト

## 実習地（西本村憩いの森）の作業手順の説明図



実習地（西本村憩いの森）



刈払機

## 安全管理のポイント「危険な生物 ハチ」

練馬区では、基本的にハチは益虫と考え共存・共生することをめざしています。しかし、スズメバチ等危険なハチには注意が必要です。スズメバチは他のハチに比べ、高い攻撃性を持ちます。特に危険な時期は7～10月頃、特に10月頃に攻撃性が増し、その中でも、日の出から午前8時頃に活発になると言われています。つまり、草が繁茂し草刈りの必要な時期が、ハチに刺される最も危険な時期となります。巣が発達する時期に最も攻撃性が高くなるため、憩いの森等で巣を発見したら、なるべく早く担当部署へ連絡し対応してもらいましょう。前年までに巣があった場所は、ハチが巣をつくるのに向いている事が多く、再び巣をつくられることがあるため、巣をつくり始める春先は特に注意が必要です。スズメバチは黒い色や香りに反応するので、服装等にも気をつけましょう。



## 今回のキーワード「熱中しても夢中になるな」

草刈り等の作業は、熱中しやすくなります。熱中し過ぎて夢中になり、周りが見えなくなると自分自身がケガを負ったり、周りにケガをさせたりすることがあります。現場ではよく、「熱中しても良いが、夢中になってはいけません」と言います。熱中して集中しているうちは、丁寧な作業が行えますが、夢中になり我を忘れると、とても危険な状態になることがあります。また、当たり前のことをきちんとやらなかったり、恥ずかしがったり、面倒がったりすることで、事故を起こすことがあります。慣れた頃が一番危険です。簡単な点検や安全確認を怠り、事故を起こすことが多々あります。憩いの森等で活動する際は、より安全な選択をし、楽しく安全を意識した活動をするよう心がけてください。

